

“とねがわ”
わくわく遊覧

ようこそ葛和田へ そして船で赤岩へ

利根川

赤岩河岸

葛和田渡船

群馬県赤岩から船が迎えます

葛和田河岸

利根川中流域に関心ある方へ
阿うんの会は「荻野吟子記念館」
俵瀬のみならず利根川周辺地区の
ガイドを承っております。
モットは「利根川スピリッツ」です

文化とスポーツのまち、利根川流域へ

NPO 法人めぬまガイドボランティア阿うんの会がご案内します。

“たわらせ”
わくわく巡り

葛和田から俵瀬へ

俵瀬

「荻野吟子記念館」←俵瀬

葛和田→

利根川の河川敷

↑
俵瀬

葛和田渡船場から、利根川河川敷脇のサイクリング
グロードを沿って俵瀬へ向かっていきましょう。

葛和田河岸

荻野吟子記念館

〒360-0223 熊谷市俵瀬 581-1 電話/FAX 048-589-0004

<https://oginoginkokinenkan.com>



これから、葛和田、赤岩、俵瀬の解説をします。

①利根川中流域(ここは利根川の間地)。ここ葛和田は熊谷駅から利根川(7,2Km)の熊谷バス終点です。

①先ずは、「葛和田(くずわだ)」ここからです。河川敷には、渡船場を挟んで、サッカー場、グライダー場があり、赤岩から船がここまで迎えに来ます。ここの河川敷は、集合場所に最適です。地図、バス時刻表参照

②葛和田の渡し(群馬県側は赤岩の渡し=赤岩渡船と呼ぶ)

この上流から浅くなり、大型船はここまで。上流には小さな船に乗り換える必要性から、渡船場として発展したく渡しの歴史は古く上杉謙信の時代からあった。今の利根川にはここしかないそう。県道扱いの無料。(川幅 400m.水深 4m~80mm)。約 5 分程度で赤岩に到着します。8 時 30 分~17 時(夏期)運航

利根川上流には「刀水橋」、その先は群馬県の赤城山,春名山などなどがみえる。船からの眺めは最高。

③赤岩河岸/赤岩の渡し(群馬県側では赤岩の渡し(熊谷側では葛和田の渡し)と呼ぶ)

赤岩河岸に到着し、堤を越えると赤岩は目前です。ここが「千代田町赤岩」です。堤上のサイクリングロードが利根川に沿って左右に広がっています。ここで例年、スポーツとお祭りが繰り広げられます。

④光恩寺

千代田町にある最古のお寺で、約 1,200 年前に開かれたと伝えられています。境内には日本で最初の女医である荻野吟子氏の生家から移築された旧長屋門や、国指定文化財の銅五種鈴、阿弥陀三尊像など多くの文化財を所蔵しています。アジサイや睡蓮などの季節を彩る花木も豊かで、秋には十月桜と紅葉とのコントラストも楽しめます。

①荻野吟子の生家長屋門

荻野吟子は日本の医師国家試験に合格した最初の女性です。それまで、女性には医師国家試験の受験資格がなく、医学校への入学すら許されていませんでした。道なき道を切り開いて医師へ夢を実験するには、並々ならぬ決意があったことでしょう。その固い決意をもって生家にあった長屋門をくくり、上京したのは明治6年11月8日のことでした。見事、医師国家試験に合格し、医院を開業したころ、実家の建物を整理することになり、荻野家の近所に住んでいた光恩寺の檀家を介して、寺の境内に移築したといわれています。

⑤赤岩の新田家

江戸時代末期、嘉永年間創業の割烹「新田家」があります。名物はうなぎです。その昔は、旅館を営んでいた新田屋さん。田山花袋の小説の舞台にもなりました。田山花袋の定宿だったそうで入り口には田山花袋の書が飾ってあります。

②利根大堰(利根川下流)

昭和43年以来取水開始、利根川中流域の農業用水や首都圏生活者の飲料水、工業用水を支える重要な堰です。

せきとめられた上流部の水面はウインドサーフィンやジェットスキー等水上スポーツのメッカとして、上下流域は多くのフィッシングポイントがあります。

再び、「赤岩河岸」に戻り、赤岩渡しから葛和田渡しへ船で戻ります。利根川(葛和田側サイクリングドロ)のスポット葛和田のサイクリングロードを利根川下流に向かうと

⑥マリンスポーツ

赤岩渡船場では、利根川の水上演習(水上バイクやバナナボート、カヌー)などが体験できます。

④妻沼グライダー滑走場

利根川河川敷に広がる妻沼グライダー滑走場は滑空時間、飛行回数ともに日本一を誇ります。昭和38年の開設以来、多くの学生が飛行訓練にはげんでいます。「学生グライダーの聖地」と呼ばれており、人気コミックで映画化もされた「ブルーサーマル」にも登場します。

⑦大杉神社/暴れ神輿

- ・大杉神輿は葛和田/大野/俵瀬村(江戸時代)は河岸場として賜った。
- ・荒宿に「与助」という腕の良い船頭が、江戸まで三十余里を運航していたところ、暴風になったので、「南無大杉大明神」を唱えたところ、白髪の大杉様が現れ波静かなところに運んでくれた。
- ・享和元年(1801)この出来事をきっかけで、そのお礼として安全を祈願して、大杉様の神輿を造ったそうです。
- ・大正3年(1914)利根川堤防新設工事に伴い、大杉神社は現在の地「神明舎」に移動した。
- ・神明社と大杉神社それぞれの鳥居がある。
- ・明治6年(1873)現在の大杉神輿に造りかえられた。

③荻野吟子生誕之地・荻野吟子記念館

熊谷市俵瀬には、吟子生誕之地公園(敷地内には記念館)があります。この公園の記念碑や銅像は吟子の面影が残されています。荻野吟子は日本最初の女性の医師です。嘉永4年(1851年)ここ俵瀬に生まれております。吟子18歳の頃結婚するまで、ここで成長しました。昭和になり渡辺淳一の小説花埋みが登場し、著名になりました。

⑧福川水門

福川水門は、福川と利根川の合流部に位置し、逆流防止目的として建設されました。昭和53年度完成。利根川上流河川事務所の中で一番大きい水門です。これにて、本日のわくわくスポットをすべて紹介終了しました。【おしまい】